

承認番号	14100AZZ04996000
保険適用	1966年10月
販売開始	1966年10月
再評価結果	1986年12月

根管消毒・鎮痛鎮静剤

** 劇薬 **メトコール®**
METHOCOL®

* 貯 法：光を避けて室温で保管すること。
使用期限：外箱及びラベルに表示の使用期限内に使用すること。

【組成・性状】

1. 組成

100 g 中に次の成分を含有する。

〈有効成分〉 グアヤコール 70 g
パラクロルフェノール 30 g

2. 製剤の性状

無色～淡紅色澄明の液で、芳香性のおいがある。

【効能・効果】

齶窩及び根管の消毒、歯髄炎の鎮痛鎮静、根端（尖）性歯周組織炎の鎮痛鎮静

【用法・用量】

齶窩・根管の拡大・清掃を十分にいき、本剤の適量を患部に貼付し、仮封する。

【使用上の注意】

1. 副作用

過敏症（頻度不明）

過敏症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な処置を行うこと。

2. 適用上の注意

- (1) 腐食力があるので注意して使用すること。
- (2) 軟組織に対し局所作用を現すので、口腔粘膜等に付着させないよう配慮すること。したがって、使用に際してはラバーダム防湿等を行うこと。
- (3) 軟組織に付着した場合には、直ちに清拭し、消毒用エタノール、グリセリン、植物油等で清拭するか、又は多量の水で洗うなど適切な処置を行うこと。
また、手指等に付着した場合には、石けん等を用いて水又は温湯で洗浄すること。
万一眼に入った場合には、直ちに多量の水で洗浄する等の適切な処置を行うこと。
- (4) 歯科用にのみ使用すること。

3. その他の注意

急性毒性（本剤）⁶⁾

ラット (Wistar 系 ♂) 経口 LD₅₀= 1.55 mL/kg

【臨床成績】¹⁾²⁾⁴⁾

適 用	症例数	成 績		
		良 好	概 良	不 良
露出損傷歯髄	30	30	0	0
抜 髄 根 管	121	114	7	0
感 染 根 管	151	137	14	0

【薬効薬理】

＜抗菌作用＞

メトコール（パラクロルフェノール・グアヤコール）の細菌発育阻止作用は、次表のとおりである³⁾。

試験方法	菌 種	薬 剤	トリホルマリン	クロロフェノール	グアヤコール	パラクロルフェノール・グアヤコール
		ホルマリン	カンファール	クロロフェノール	グアヤコール	パラクロルフェノール
ろ 紙 法	<i>Str. Ki</i>	+++	+++	+++	+++	+++
	<i>Sta. H</i>	+++	+++	+++	+++	+++
	<i>Sta. 209p</i>	+++	+++	+++	+++	+++
三 木 式 カ ッ プ 法	<i>Str. Ki</i>	+++	—	—	+++	+++
	<i>Sta. H</i>	+++	—	—	++	++
	<i>Sta. 209p</i>	+++	—	—	+	+

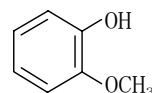
注 +++ : 30 mm 以上の発育阻止円
++ : 15 mm 以上の発育阻止円
+ : 11 mm 以上の発育阻止円
- : 発育阻止円ほとんどなし

＜局所麻ひ作用＞

本剤には腐食性の局所麻ひ作用がある。カエルの座骨神経に対するメトコールとグアヤコールの比較実験によると、メトコールによる麻ひの発現はグアヤコールに比べて迅速である⁵⁾。

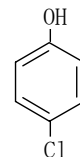
【有効成分に関する理化学的知見】^{7)8) *}

1. 一般名：グアヤコール (Guaiacol)
化学名：2-Methoxyphenol
分子式：C₇H₈O₂ (分子量：124.14)
構造式：



* 性 状：本品は無色～淡紅色澄明の油状の液又は無色の結晶で、特異な芳香があり、液は強く光線を屈折する。本品はジメチルホルムアミド、エタノール (95) 又はジエチルエーテルと混和する。本品は水にやや溶けにくい。

2. 一般名：パラクロルフェノール (Parachlorophenol)
化学名：4-Chlorophenol
分子式：C₆H₅ClO (分子量：128.56)
構造式：



性 状：本品は無色～微赤色の結晶又は結晶性の塊で、特異なおいがある。

【取扱い上の注意】*

<注意>引火性があるので、火気に注意して使用・保管すること。

【包装】

10 mL

【主要文献】*

- 1) 木下正道：パラモノクロロフェノールを主剤とする合剤が露出損傷歯髄及び抜髄創に及ぼす影響に関する臨床病理学的研究，
歯科学報，68(3)，82～140，1968.
- 2) 木下正道，中村靖夫，山岸昭平，石 光範，田上隆弘，大塚弘介，吉井英祐，浅井康宏，関根永滋：新根管治療剤パラクロロフェノール・グアヤコールの臨床応用成績，
歯科学報，69(10)，78～83，1969.
- 3) T.Homma, M.Tanaka, A.Yamamoto, Y.Hashimoto, K.Okuda, K.Yunoki, T.Moriyama, T.Nakamura and W.Yonezawa：Studies on the Microorganisms in the Root Canal -Preliminary Report-,
Bull. Tokyo Dent.Coll.，10(1)，1～11,1969.
- 4) 浅井康宏，山岸昭平：歯内療法薬剤，特に根管治療剤について，
歯界広報，34(1)，11～16，1974.
- * 5) 社内資料：栄研環境科学研究所：メトコール神経麻痺試験(1975).
- * 6) 社内資料：前橋 浩：メトコールのラットを用いた急性経口毒性試験(1976).
- 7) 日本薬局方外医薬品規格(2002).
- * 8) 医薬部外品原料規格(2006).

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

請 求 先：ネオ製薬工業株式会社 学術情報部
住 所：〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-1-3
ホームページ：http://www.neo-dental.com/
フリーダイヤル：☎ 0120-07-3768

製造販売元



ネオ製薬工業株式会社

〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel.(03)3400-3768(代) Fax.(03)3499-0613